

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見つけようという場です。

## @web

# 第67回

2022年  
**1月23日(日)**  
13:00 ~ 15:00  
ルームオープン: 12:40

**Zoomにて開催!** 参加無料

★メールでのお申し込みが必要です。  
Zoomの参加URL(ルーム番号とパスワード)をお送りします。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

## 人形劇人、大井数雄

——その人形劇への思いを探る——

報告者: 鈴木 正美・岩原 宏子



大井数雄(1929 ~ 1986) 中央人形劇場提供

### ソ連、社会主義リアリズム、そして人形劇——

大井数雄(1929 ~ 1986)は、人形劇の俳優、演出家、翻訳家、教育者として活躍した。大井の活動は、1960年代から1980年代初め、人形劇人に大きな影響を与えたが、今までそのまとまった紹介はなかった。本年の日本ロシア文学会のワークショップにおいて、報告者は大井数雄の活動を紹介し、大井数雄という人を知ってもらうことに一定の成果を上げることができた。

今回はこのワークショップでの報告をもとに、大井数雄の活動をソ連の人形劇などとの関わりを含めて紹介したい。大井数雄の蔵書は「大井数雄文庫」として将来公開される予定であり、この文庫ができるまでの経緯についても述べたい。

#### ●鈴木 正美(すずき まさみ)

1959年、埼玉県生まれ。早稲田大学第一文学部ロシア文学科卒。新潟大学人文学部教授。マンデリシュタムをはじめ現代ロシアの詩、ジャズ、美術を研究している。著書に『言葉の建築術——マンデリシュタム研究1』(群像社、2001年)、『ロシア・ジャズ——寒い国の熱い音楽』(東洋書店、2006年)、『どこにもない言葉を求めて——現代ロシア詩の窓』(高志書院、2007年)、訳書にウラジーミル・タラーソフ『トリオ』(法政大学出版局、2016年)など。

#### ●岩原 宏子(いわはら ひろこ)

東京外国語大学ロシア語学科卒、同大学院ロシア語専攻修了。日本対外文化協会に勤務し、ロシア(ソ連)と旧東欧諸国との学術・文化交流に携わった。拓殖大学、札幌大学で非常勤講師を務めた。元東海大学准教授。現在同大学非常勤講師。専門はロシアの人形劇およびロシア語教育。著書(共著)『コミュニケーションのためのロシア語』(2017, 三修社)。



大井数雄(右奥)と妻の弘子(左手前)  
大井数雄文庫



左から大井数雄、オプラスツォフ、大井弘子、中央人形劇場の俳優 オプラスツォフ中央人形劇場博物館提供



「演劇と教育」大井数雄追悼号(1986年8月号)より